

サケの種卵確保は

前年同期の61.3%である



菊地 光明 議員
(新 生 会)

問 今年のサケ稚魚の放流時期になってきたが、元年度のサケの種卵確保はどのくらいであるか。また新たな養殖種目の導入について、何の種目を考えているのか。

佐藤町長 サケの種卵確保についてだが、2月20日現在における織笠川ふ化場の採卵数は1634万8000粒で、前年同期の61.3%である。県全体では2億510万5000粒で、前年同期の43.6%にとどまる厳しい状況となっている。新たな養殖種目の導入については、現在、三陸やまだ漁協で試験養殖を行っているアサリの本格導入に向けた取り組みを進め

ていくほか、県内で始まった魚類養殖の実証試験の状況を見ながら、漁協や関係機関と連携し、トラウトサーモンやギンザケなどの魚類養殖の導入の可能性について検討していきたいと考えている。

意見 種卵問題については町長と水産商工課のリーダーシップをお願いするしかないので頑張っ

鈴木善幸記念館は

問 鈴木善幸元総理大臣を顕彰する文庫を震災のため凍結してから8年になるが、今回の公共施設利活用検討委員会での検討に加え、早急に整備する考えはないか。

町長 鈴木善幸記念館については、新たな施設整備の考えは持っていない

2年度中に結論を

が、既存施設を活用した設置の可能性について、「公共施設等総合管理計画推進委員会」で検討を進めるとともに、関係者の意見等も参考としながら、令和2年度中には結論を出したいと考えている。

展望広場の整備は

問 国道との交差部付近に展望広場を整備する計画のようだが、具体的な場所と広場の整備内容は。

町長 展望広場については、防潮堤の復旧整備により国道沿いから山田湾

跡浜地区に計画

を眺める場所が少なくなつたことから整備するもので、跡浜地区の防潮

堤の乗越し道路と国道の間を埋めて、約740平方メートルの平場を造成し、ベンチや展望デッキを設置する計画としている。



展望広場整備予定地から見る山田湾

その他の質問

- ◆ 給食センターの配送方法は
- ◆ 埋蔵文化財収蔵庫の設置場所は
- ◆ 文化財審議委員会の役割は